



令和2年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

令和2年2月14日

上場会社名 東洋刃物株式会社
コード番号 5964 URL <http://www.toyoknife.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 清野 芳彰

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 久保 雅義

TEL 022-358-8911

四半期報告書提出予定日 令和2年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 令和2年3月期第3四半期の連結業績(平成31年4月1日～令和元年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2年3月期第3四半期	3,734	11.8	145	57.7	100	65.2	51	79.8
31年3月期第3四半期	4,235	9.1	345	43.2	287	42.9	256	59.3

(注) 包括利益 2年3月期第3四半期 60百万円 (70.8%) 31年3月期第3四半期 208百万円 (2.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2年3月期第3四半期	34.76	
31年3月期第3四半期	167.16	143.59

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2年3月期第3四半期	6,250	1,818	29.0	1,266.18
31年3月期	7,372	2,375	32.2	1,301.23

(参考) 自己資本 2年3月期第3四半期 1,815百万円 31年3月期 2,372百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
31年3月期		0.00		20.00	20.00
2年3月期		0.00			
2年3月期(予想)				20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和2年3月期の連結業績予想(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,800	15.7	130	69.2	80	77.3	30	94.7	19.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2年3月期3Q	1,865,900 株	31年3月期	1,865,900 株
期末自己株式数	2年3月期3Q	431,969 株	31年3月期	42,533 株
期中平均株式数(四半期累計)	2年3月期3Q	1,493,388 株	31年3月期3Q	1,534,912 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、令和2年3月期の配当予想につきましては、業績の状況により修正の可能性もあります。今後、業績の見通しを勘案したうえで修正が必要な場合、改めてお知らせいたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P2
(1) 経営成績に関する説明	P2
(2) 財政状態に関する説明	P2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P3
(1) 四半期連結貸借対照表	P3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P7
(継続企業の前提に関する注記)	P7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P7
(セグメント情報等)	P7
(重要な後発事象)	P8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米中の貿易摩擦の長期化によりさらなる停滞が懸念されるなか、景況感の改善は見られず、製造業においては設備投資も減速基調が続き、雇用や所得情勢、また個人消費についても消費増税の影響もあり、下押し圧力が増大しております。海外経済は、米中貿易摩擦の深刻な影響が継続するなか、米国の成長ペースは鈍化しているものの個人消費を背景に堅調な状況は維持している一方、中国のIT需要の回復遅れや、欧州の景気低迷にともなう金融不安、英国のEU離脱問題による下押し懸念等、総じて鈍化する状況のなか推移しております。

当社グループにおきましては、高付加価値、高精度精密製品への営業活動を積極的に展開し、業務改善活動の一環として生産性の向上にも取り組んでまいりましたが、主力製品の位置づけである産業用機械及び部品が、米中の貿易摩擦により想定以上の需要減が継続したことに加え、情報産業用刃物もIT関連の調整局面による需要減も続き、鉄鋼用刃物も鈍化いたしました。緑化造園は管理業務、造園工事を主に堅調に推移したものの、当第3四半期連結累計期間における売上高は37億34百万円（前年同四半期比11.8%減）となりました。損益面におきましては、主力製品の減少が損益にも影響した要因が大きく、生産設備の生産性改善にともなう修繕費用もあり、営業利益1億45百万円（前年同四半期比57.7%減）、経常利益1億円（前年同四半期比65.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益51百万円（前年同四半期比79.8%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

ア) 機械刃物及び機械・部品

当セグメントにおきましては、製紙パルプ用刃物やその他の刃物関連は堅調に推移したものの、産業用機械及び部品の大幅な需要減や主力の情報産業用刃物のIT関連の鈍化や鉄鋼用刃物の減少も影響し、売上高33億69百万円（前年同四半期比13.8%減）、セグメント利益3億33百万円（前年同四半期比42.1%減）となりました。

イ) 緑化造園

当セグメントにおきましては、堅調な管理業務に加え、造園工事においては効率的な工事への取り組み効果もあり、売上高3億64百万円（前年同四半期比11.7%増）となり、セグメント利益は45百万円（前年同四半期比49.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて20.2%減少し、41億30百万円となりました。これは主として現金及び預金の減少などによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて3.4%減少し、21億19百万円となりました。これは主として繰延税金資産などの投資その他の資産の減少などによるものです。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べて15.2%減少し、62億50百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて16.0%減少し、27億66百万円となりました。これは主として流動負債のその他に含まれる未払金の減少などによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて2.3%減少し、16億65百万円となりました。これは主として長期借入金の減少などによるものです。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて11.3%減少し、44億32百万円となりました。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて23.4%減少し、18億18百万円となりました。これは主として自己株式取得による株主資本減少などによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和元年11月1日発表の通期の業績予想に変更はありません。

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確定な要因に係る仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成31年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和元年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,524	1,770
受取手形及び売掛金	1,241	1,022
電子記録債権	549	421
製品	225	258
仕掛品	326	273
原材料及び貯蔵品	294	324
その他	19	62
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	5,177	4,130
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	704	685
その他(純額)	942	931
有形固定資産合計	1,646	1,617
無形固定資産	26	27
投資その他の資産		
投資その他の資産	534	485
貸倒引当金	△11	△10
投資その他の資産合計	522	474
固定資産合計	2,195	2,119
資産合計	7,372	6,250
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	684	653
短期借入金	1,697	1,697
未払法人税等	103	17
賞与引当金	128	22
その他	678	375
流動負債合計	3,292	2,766
固定負債		
長期借入金	650	575
退職給付に係る負債	1,029	1,037
役員退職慰労引当金	21	21
その他	3	31
固定負債合計	1,704	1,665
負債合計	4,997	4,432

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成31年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和元年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	700	700
資本剰余金	354	354
利益剰余金	1,542	1,557
自己株式	△31	△612
株主資本合計	2,565	1,999
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	25	26
為替換算調整勘定	8	△1
退職給付に係る調整累計額	△226	△209
その他の包括利益累計額合計	△192	△184
非支配株主持分	2	2
純資産合計	2,375	1,818
負債純資産合計	7,372	6,250

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成31年4月1日 至令和元年12月31日)
売上高	4,235	3,734
売上原価	2,992	2,789
売上総利益	1,242	944
販売費及び一般管理費	897	799
営業利益	345	145
営業外収益		
受取利息	2	0
受取配当金	4	4
固定資産賃貸収入	8	8
環境対策引当金戻入額	14	-
その他	16	6
営業外収益合計	46	19
営業外費用		
支払利息	34	25
持分法による投資損失	7	14
製造休止損失	25	-
シンジケートローン手数料	14	7
その他	22	18
営業外費用合計	104	65
経常利益	287	100
特別利益		
受取保険金	101	-
特別利益合計	101	-
特別損失		
事業整理損失引当金繰入額	37	-
事業整理損失	4	-
投資有価証券清算損	-	2
特別損失合計	42	2
税金等調整前四半期純利益	346	98
法人税、住民税及び事業税	74	15
法人税等調整額	15	30
法人税等合計	89	45
四半期純利益	256	52
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	256	51

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成31年4月1日 至令和元年12月31日)
四半期純利益	256	52
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△41	0
為替換算調整勘定	△9	-
退職給付に係る調整額	10	17
持分法適用会社に対する持分相当額	△7	△9
その他の包括利益合計	△48	8
四半期包括利益	208	60
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	208	60
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、令和元年5月10日開催の取締役会において、会社法第459条第1項の規定による定款の定めに基づき、自己株式を取得することを決議し、当社株式389,300株を取得しました。この結果、自己株式が580百万円増加しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント		
	機械刃物及び機械・部品	緑化造園	計
売上高			
外部顧客への売上高	3,908	326	4,235
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	0	0
計	3,908	327	4,235
セグメント利益	575	30	606

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	606
セグメント間取引消去	0
全社費用(注)	△261
四半期連結損益計算書の営業利益	345

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成31年4月1日至令和元年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		
	機械刃物及び機械・部品	緑化造園	計
売上高			
外部顧客への売上高	3,369	364	3,734
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	0	0
計	3,369	365	3,734
セグメント利益	333	45	379

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	379
セグメント間取引消去	0
全社費用(注)	△234
四半期連結損益計算書の営業利益	145

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。